

令和7年度 第1回コンクリート常任委員会

議事録（案）

日 時：2025年6月4日（水）14時～17時

場 所：Web 会議＋土木学会講堂

出席者：岸委員長、半井幹事長、

新、石関、石田（征）、岩城、上田、上野、大城、加藤、鎌田、河合、草野、古賀、小林、齊藤、佐伯、坂井、佐川、佐藤、下村、菅俣、高橋、玉井、津吉、鶴田、中村、永元、久田、牧、松尾、丸屋、山路、山本の各常任委員

浦野、岡崎、白根、三木、渡辺の各常任委員兼幹事

佐々木（事務局）

配布資料：

資料 1-0 令和7年度 第1回コンクリート常任委員会 議事次第

資料 1-1 委員構成

資料 1-2 令和6年度 第6回コンクリート常任委員会 議事録（案）

資料 1-3 2025年度（令和7年度）土木学会コンクリート委員会 常任委員会 日程

資料 1-4 土木学会コンクリート委員会 101 示方書改訂小委員会 委員構成

資料 1-5 コンクリート教育研究小委員会（201）委員名簿

資料 1-6 土木材料実験指導書編集小委員会委員構成（案）

資料 1-7 コンクリート構造物の品質確保・長寿命化対策検討小委員会 委員名簿

資料 1-8 カーボンニュートラルに向けたコンクリート構造物のあり方に関する研究小委員会 委員構成

資料 1-9 土木コンクリート構造物の火害診断に関する研究小委員会 委託研究申込書

資料 1-10 表面保護工法設計施工指針 改訂小委員会について

資料 1-11 2024年度 コンクリート委員会 一般会計 予算～執行状況表

資料 1-12 2024年度 調査研究委員会の活動度評価の結果および2025年度調査研究費予算配分について

資料 1-13 土木学会規準案の審議依頼期限について ～円滑な審議と時間の確保～

資料 1-14 JCI ISO/TC71 対応国内委員会からの依頼文

資料 1-15 令和8年度文部科学大臣表彰の推薦について

議 事：

1. 委員長挨拶（岸）

岸委員長より、常任委員会開催にあたり挨拶が行われた。内容は以下の通りである。

八潮市での道路陥没事故を受けて土木学会全体として社会インフラの維持管理に関して様々な取り組みが検討されており、コンクリート委員会としても本件に協力するとともに、示方書改訂に向けた本格的な活動を行いたい。また、国内外で精力的に行われているカーボンニュートラルや、再生骨材および微粉末等のリサイクルに関する問題についても、コンクリート委員会としては、各種研究小委員会単位、もしくは研究者単位で力を合わせて解決に向けた取り組みを引き続き行いたい。

2. 2025～26年度コンクリート委員会・常任委員会の構成（岸）【資料 1-1】

岸委員長より、委員会の構成員について説明がなされた。また、出席の委員および事務局より自己紹介が行われた。

3. 2024年度 第6回コンクリート常任委員会議事録の承認（司会）【資料 1-2】

半井幹事長より前回議事録案が読み上げられ、内容が承認された。

4. 2025年度コンクリート常任委員会の開催日程（半井）【資料 1-3】

半井幹事長より委員会の開催日程について説明がなされ、内容が承認された。

5. その他
特になし。

審議事項：

1. 第1種委員会について（岸）
 - (1) 示方書改訂小委員会の委員構成【資料1-4】

岸委員長より、示方書改訂小委員会の委員構成について説明がなされた。また、下村委員（示方書改訂小委員長）より、今回示方書改訂小委員会において新たに本編部会が設置されたことに伴う委員追加について説明がなされた。
2. 第2種委員会について（岸）
 - (1) コンクリート教育研究小委員会（201）の委員交代【資料1-5】

コンクリート教育研究小委員会の委員構成について説明がなされた。連絡幹事を岡崎幹事とする案が示され承認された。委員の所属変更を名簿に反映したことが報告された。
 - (2) 土木材料実験指導書編集小委員会（205）の委員交代【資料1-6】

土木材料実験指導書編集小委員会の委員構成について説明がなされた。本小委員会の上野委員長が本コンクリート委員会常任委員を兼任していることから、連絡幹事は置かないとする案が説明され、承認された。
 - (3) コンクリート構造物の品質確保・長寿命化対策検討小委員会（235）の委員交代【資料1-7】

コンクリート構造物の品質確保・長寿命化対策検討小委員会の委員構成について説明がなされた。委員、顧問の所属変更およびオブザーバーの追加について報告された。
 - (4) カーボンニュートラルに向けたコンクリート構造物のあり方に関する研究小委員会（238）の委員交代【資料1-8】

カーボンニュートラルに向けたコンクリート構造物のあり方に関する研究小委員会の委員構成について説明がなされた。連絡幹事として白根幹事を追加する案が示され、承認された。
 - (5) 土木コンクリート構造物の火害診断指針に関する研究小委員会（250）の委員構成【資料1-9】

土木コンクリート構造物の火害診断指針に関する研究小委員会の委員構成について説明がなされた。また、前回委員会において承認された受託研究申込書の内容について、前回資料から追記がなされたため、追記分と委員会名称の変更を含めて本件について改めて報告がなされた。
 - (6) 表面保護工法設計施工指針改訂小委員会（251）の委員交代【資料1-10】

表面保護工法設計施工指針改訂小委員会の委員構成について説明がなされた。小林委員長が本コンクリート委員会常任委員を兼任していることから、連絡幹事を置かないとする旨の案が示され、承認された。また、WG委員の追加と、退任に関する案が示され、承認された。また、委員の所属変更を名簿に反映したことが報告された。
3. その他
特になし。

報告事項：

1. 土木学会事務局からの報告（半井）
 - (1) コンクリート委員会の2024年度決算【資料1-11】

半井幹事長より、2024年度決算について報告がなされた。約500万円の黒字となり、学会へ返還されたとの旨が報告された。
 - (2) コンクリート委員会の2024年度活動度評価報告【資料1-12】

半井幹事長より、2024年度活動度評価報告および実績に基づく2025年度予算配分について報告がなされた。活動評価は指標最高ランクのAを獲得しており、その評価に基づいて予算配分が行われた旨が述べられた。
2. その他
 - (1) 規準関連小委員会からのお願い（上野）【資料1-13】

規準関連小委員会委員長の上野委員から、研究委員会などが指針類を作成する際に新たに土木学会規準（特に試

験方法など)が必要となる場合,その規準案を提出するタイミングについての依頼がなされた。規準案が規準関連小委員会に提出されてから土木学会規準として成立するまでの審議プロセスは,小委員会での全体会議,小委員会内のWG,再度小委員会,コンクリート常任委員会を経るため,完了までに最短で半年,最長で9ヶ月程度を要する。したがって,指針出版や成果報告会などに間に合わせるためには,約9ヶ月前までに規準関連小委員会へ規準案の依頼をお願いしたい。なお,依頼時には規準案と解説案をセットで提出し,規準作成経験者に事前に確認していただくと,審議がより円滑に進行すると思われるのでお願いしたい。

(2) JCIのISO/TC71対応国内委員会からの意見照会について(半井)【資料1-14】

半井幹事長より説明がなされた。コンクリート委員会では,JCI(日本コンクリート工学会)から送られてくるISO規格のドラフトに対する意見照会への対応について意見交換を行った。

(3) 令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について(半井)【資料1-15】

半井幹事長より説明がなされた。土木学会から推薦可能であるので,候補者がいる場合には半井幹事長に連絡する旨が述べられた。

次回開催:

日時:7月9日(水)14:00~17:00 Web+土木学会のハイブリッド会議

議題:幹事長宛6月30日(月)までに